学校番号	1206

令和５年度　家庭科

教科	専門家庭	科目	リビングデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭基礎で学習した住生活の内容を発展的に学習します。タブレットや視覚情報を多く取り入れ、世界や日本の住生活と文化をふまえ、環境やライフスタイルにあった住空間の機能・デザインなどを学びます。将来の住生活にいかすことのできる実践的な態度を身につけます。

2　学習の到達目標

安全で暮らしやすい住まい方やライフスタイルに合った住まいを構成するために必要な知識と技術を習得させ、住生活に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る想像的な能力と実践的な態度を育てます。豊かな住生活の実現を担うために必要な資質・能力を育成します。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに興味を持ち、快適な住空間を計画し、デザインする能力と実践的な態度を身につけている。	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて思考を深め、学習した知識をもとに、適切に判断し、調和の取れたインテリアコーディネートとデザインができる。	インテリアのデザイン要素、構成要素に関する知識を習得し、インテリアデザインの表現技法を身につけ、具体的な住空間のインテリアデザインができる。	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する知識を身につけ、環境や福祉にも配慮した住生活について理解している。
評価方法	・出席状況 ・プリント ・課題研究 ・レポート	・プリント ・課題研究 ・レポート ・発表 ・定期考査	・模型作品 ・平面図	・プリント ・小テスト ・課題研究 ・レポート ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、総合的に評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生活と住居	・オリエンテーション ・住居の変遷と住意識 　気候風土、生活様式と住まい ・住生活と環境 　自然の環境と社会の環境 　健康的で快適な室内環境	○	○		○	a:住居や環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 b: 住居と環境について、テーマを見つけて、探求し、発表できる。 d: 住居や環境について、基本的な知識が身についている。	・授業態度 ・発表内容 ・グループワーク ・レポート ・プリント ・定期考査
	住空間の形態と構成	・住居の選択と管理 　家族周期と住居 　住居の選択と住情報 　住居の管理	○	○		○		
2学期	住居の平面	・住居の設計の基本 　住居の計画 　図面をよむ 　図面をかく(実習)	○	○	○	○	a: 住居やインテリアについて、について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 b: 住居やインテリアについて、テーマを見つけて、探求し、発表できる。 c: 住居やインテリアについて、平面図を描き、模型製作できる。 d: 住居やインテリアについて、基本的な知識が身についている。	・授業態度 ・発表内容 ・グループワーク ・レポート ・平面図 ・住居模型 ・プリント ・定期考査
	インテリアデザイン	・インテリアの基本 　各室のインテリアの計画 　理想の間取りの家模型制作	○	○	○	○		
3学期	住生活関係法規	・持続可能な社会とこれからの住まい 　住生活に関する様々な法律と制度 　住生活の状況と課題	○	○		○	a: 持続可能な社会とこれからの住居について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 b: 持続可能な社会とこれからの住居について、テーマを見つけて、探求し、発表できる。 d: 持続可能な社会とこれからの住居について、基本的な知識が身についている。	・授業態度 ・レポート ・プリント ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解